

The Record 2020

vol.729

*September 9
& October 10*



The Record 2020.9.10 vol.729

改正著作権法成立～無許諾音楽アプリの実態と対策強化～

「令和2年度 一般社団法人日本レコード協会寄附講座」明治大学で開講

第89回RIAJセミナー「新入社員合同研修会」オンライン開催

9・10

September/October
2020

CONTENTS

1 Monthly News Digest

特集

2 改正著作権法成立～無許諾音楽
アプリの実態と対策強化～

特報

8 「令和2年度 一般社団法人日本レ
コード協会寄附講座」明治大学で
開講

9 第89回RIAJセミナー「新入社員合
同研修会」オンライン開催

10 Data File

11 Monthly Production Report

13 Certification

Monthly News Digest

7/14 Tuesday

渡辺高等学院にて出張授業「音楽と著作権」を実施

7月14日、東京都目黒区の渡辺高等学院にて、当協会企画・広報部 金澤部員が「音楽と著作権」をテーマに講義を行った。

同校は芸能プロダクションのワタナベエンターテインメントが運営するワタナベエデュケーショングループによる通信制高校サポート校である。本授業は、エンターテインメントに関するレッスンを受ける学生たちが、音楽業界を支える裏方の仕事や著作権への理解を深めることを目的に実施された。

今回はオンライン講義となったため、東京校に加え大阪校や名古屋校の学生も参加し、当日は、将来、ミュージシャンや俳優などの芸能界や、エンターテインメント業界に携わる仕事を目指す学生約130名が聴講した。講義では、音楽が制作される過程やレコード会社の仕事について、映像を交えて紹介。さらに、当協会の事業や国内レコード市場について解説したほか、著作権およびエルマークについて説明を行った。受講後のアンケートでは「アーティストが音楽を作るのに沢山の人が関わったり、著作権がどのように成立するかなど、音楽について詳しく話を聞けてとても勉強になった」「他の人にも著作権のことを広めていきたい」といった感想が寄せられた。

第17回東京国際ミュージック・マーケット、 初のオンライン開催が11月に決定！

経済産業省、特定非営利活動法人 映像産業振興機構、一般財団法人 日本音楽産業・文化振興財団主催による、第17回東京国際ミュージック・マーケット(17thTIMM)の開催が決定いたしました。今年は、世界各国の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況を鑑み、初の試みとして会場を渋谷からオンラインに変更し、「TIMM ONLINE」として開催されます。詳細はTIMMサイトをご覧ください。



<第17回東京国際ミュージック・マーケット(17thTIMM)/ TIMM ONLINE概要>

日程：2020年11月4日(水)～6日(金)

内容：TIMM公式サイト内に、出展者ページ・バイヤーリスト・商談機能・プレゼン掲載画面等を備えた「TIMM ONLINE」を新設し、商談やネットワーキングを実施。会期中はビジネスセミナー・プレゼンテーション、ショーケースライブも配信予定にて、例年のリアル会場開催と同様のメニューをオンライン上で展開する。

▶TIMMサイト <https://www.timmjp.com>



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です

改正著作権法成立

～無許諾音楽アプリの実態と対策強化～

2020年通常国会で著作権法の一部改正法案が可決・成立し、6月12日に公布された。今回の法改正事項は、インターネット上の海賊版対策の強化に関する事項とその他に大別されるが、前者は、具体的に「①侵害コンテンツのダウンロード違法化」「②リーチサイト・リーチアプリ対策」の二つにつき、規定が整備される。

①について、権利者の許可なく違法にアップロードされたものと知りながら著作物をダウンロードする行為は、既に音楽・映像分野では2010年1月から違法とされ、2012年10月からは、正規版が有償で提供されていることを条件に罰則化が図られているが、今回の改正により、2021年1月1日以降、漫画、書籍、新聞、論文、ソフトウェアのプログラム等、音楽・映像以外の著作物についても、一定の要件の下に、侵害コンテンツのダウンロードが違法とされることになった。

②については、インターネット上の侵害コンテンツにユーザーを誘導する悪質なリーチサイト・リーチアプリに対抗するためのルール整備が行われることになり、2020年10月1日以降、悪質なリーチサイト・リーチアプリの運営・提供について刑事罰が設けられる等の措置が講じられることになった。いわゆる「無許諾音楽アプリ」も規制対象となり、当協会の違法対策においても音楽関係団体・音楽配信サービス事業者とともに一層の対策強化が可能となる。

本特集では、特に音楽・レコード業界に関連した内容を中心に改正法の概要を紹介するとともに、無許諾音楽アプリ実態調査委員会による調査結果を掲載する。

1. インターネット上の海賊版対策の強化

漫画を中心とする巨大な海賊版サイトが出現する中、インターネット上の権利侵害行為の被害拡大を防ぐため、2018年に知的財産戦略本部 検証・評価・企画委員会の傘下に「インターネット上の海賊版サイトに関する検討会議(タスクフォース)」が設置され、サイトブロッキングの導入に関する議論も行われたが、通信の秘密、検閲の禁止といった憲法上の要請をめぐる議論が収斂せず、報告書の取りまとめに至らなかった。現在は、2019年10月に関

係6府省庁(内閣府、警察庁、総務省、法務省、文部科学省、経済産業省)によって公表された「インターネット上の海賊版に対する総合的な対策メニュー及び工程表」に基づき、段階的・総合的な取り組みが進められており、具体的な対策は以下のとおりであるが、今回の改正著作権法が取り扱う二つの事項(「①侵害コンテンツのダウンロード違法化」「②リーチサイト・リーチアプリ対策」)は第二段階に盛り込まれている。

インターネット上の海賊版に対する総合的な対策メニュー (2019年10月18日公表)

(1) 第一段階: できることから直ちに実施

著作権教育・意識啓発／正規版の流通促進／海賊版サイト対策の中心となる組織の設置／国際連携・国際執行の強化／検索サイト対策／海賊版サイトへの広告出稿の抑制／フィルタリング／アクセス警告方式の検討

(2) 第二段階: 導入・法案提出に向けて準備

アクセス警告方式の導入／リーチサイト対策／著作権を侵害する静止画(書籍)のダウンロード違法化

(3) 第三段階: 他の取組の効果や被害状況等を見ながら検討

ブロッキング(ブロッキングに係る法制度整備については、他の取組の効果や被害状況等を見ながら検討)

インターネット上の海賊版対策の強化に関する今回の著作権法改正事項

<現行法上の取扱い>

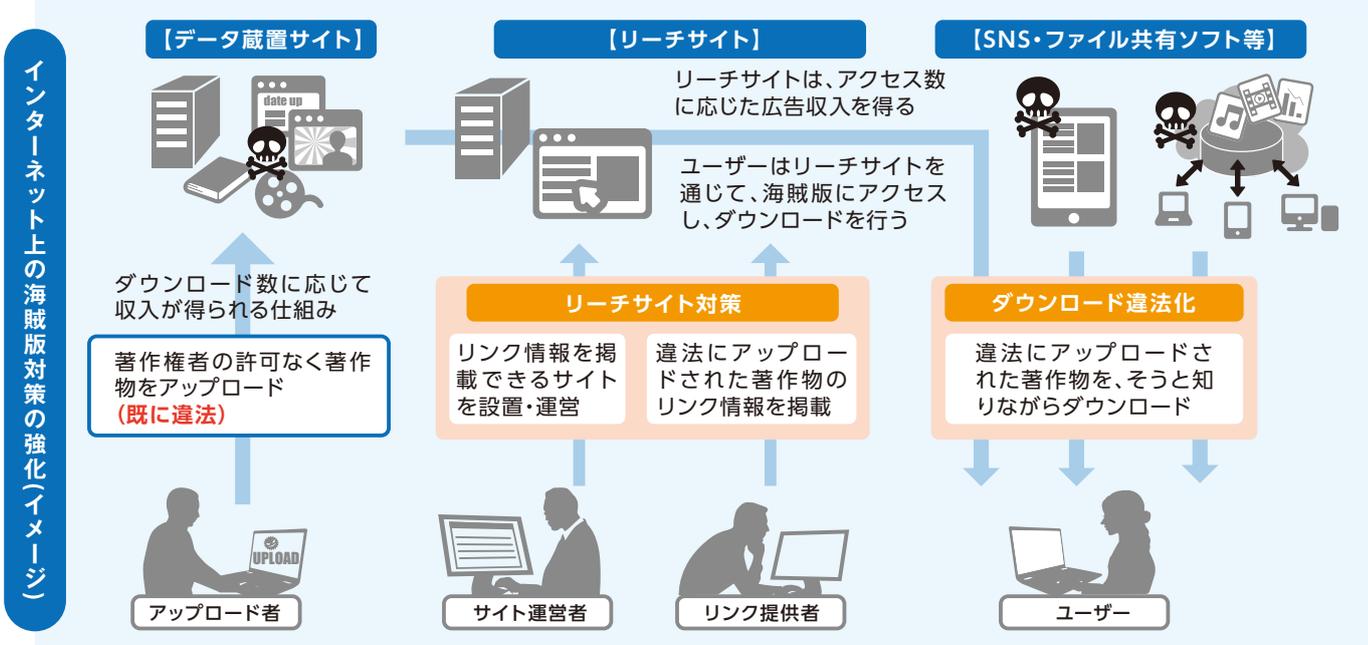
・著作権者の許可なく著作物(全般)をインターネット上にアップロードすることは違法

・違法にアップロードされた音楽・映像を、違法にアップロードされたことを知りながらダウンロードすることは違法

<今回の改正による規制内容>

■違法にアップロードされた著作物へのリンク情報を集約した「リーチサイト」を規制する[(ア)サイト運営行為と、(イ)リンク提供行為の両方を規制する] → **リーチサイト対策**

■違法にアップロードされた著作物(漫画・書籍・論文・コンピュータプログラムなど)を、違法にアップロードされたものだと知りながらダウンロードすることを、一定の要件の下で違法とする → **ダウンロード違法化**



文化庁「著作権法及びプログラムの著作物に係る登録の特例に関する法律の一部を改正する法律 御説明資料」3頁を一部加工の上作成
https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/hokaisei/r02_hokaisei/pdf/92359601_02.pdf

侵害コンテンツのダウンロード違法化(2021年1月1日施行)

個人的に又は家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的として著作物(レコード等の著作隣接権の保護対象を含む)を複製することについては、著作権(著作隣接権を含む)が制限され、権利者の許諾を受けずに行うことが認められているが、違法にアップロードされた著作物であることを知りながらデジタル方式で録音録画することは権利制限の対象外とされている。こうしたルールは2010年1月施行の改正著作権法によって導入されたものだが、当時は、違法にアップロードされた音楽・映像コンテンツの被害実態を中心に法改正の議論が行われた。その後、2012年10月以降は、有償で販売されている音楽・映像コンテンツの違法ダウンロードについて刑事罰が追加されたが、今回の法改正は、漫画・雑誌などのインターネット海賊版被害を中心に議論が

開始し、「深刻な海賊版被害への実効的な対策を講じること」「国民の正当な情報収集等に萎縮を生じさせないこと」という二つの要請を両立させるための制度設計が行われた。

今回の改正法は、違法にアップロードされた漫画・書籍等コンテンツのダウンロードなど、従来の違法ダウンロード規制の対象外であった行為についても、音楽・映像分野に準じてダウンロード違法化を図るものであるが、音楽・映像分野には存在しない要件が付加されている。

なお、音楽・映像の違法ダウンロード規制は今回の法改正後も同内容が維持されるが、違法にアップロードされた音楽・映像のダウンロードであることを重大な過失により知らない場合も違法とはならないことを確認する規定が設けられることになった。

違法ダウンロードの比較

	音楽・映像 (現行法30条1項3号) 【従来どおり】	音楽・映像以外の著作物 (改正法30条1項4号) 【2021年1月1日施行】
対象	違法にアップロードされた著作物(音楽・映像)	違法にアップロードされた著作物(音楽・映像以外)
対象行為	デジタル録音録画のダウンロード	デジタル複製(録音録画以外)のダウンロード ・漫画の1コマ～数コマ、サムネイル画像など、分量・画質などに照らして軽微なものは除く ・二次創作やパロディは除く ・権利者の利益を不当に害しないと認められる特別な事情がある場合を除く
主観要件	違法にアップロードされたことを知りながら行うダウンロード(重大な過失によって知らない場合は規制対象外)	

違法ダウンロードのうち、罰則対象となるものの比較

	音楽・映像 (現行法119条3項1号) 【従来どおり】	音楽・映像以外の著作物 (改正法119条3項2号) 【2021年1月1日施行】
対象	違法にアップロードされた著作物(音楽・映像)で、正規版が有償で提供されているもの	違法にアップロードされた著作物(音楽・映像以外)で、正規版が有償で提供されているもの
対象行為	デジタル録音録画のダウンロード	デジタル複製(録音録画以外)のダウンロード ・漫画の1コマ～数コマ、サムネイル画像など、分量・画質などに照らして軽微なものは除く ・二次創作やパロディは除く ・権利者の利益を不当に害しないと認められる特別な事情がある場合を除く
主観要件	違法にアップロードされたことを知りながら行うダウンロード(重大な過失によって知らない場合は規制対象外)	
常習性	——	継続的に又は反復して行う場合
法定刑	2年以下の懲役若しくは200万円以下の罰金又はこれら両方の併科(親告罪であり、権利者の告訴が必要)	

リーチサイト・リーチアプリ対策(2020年10月1日施行)

著作物等を権利者の許諾を受けずにインターネット公開することは、著作権者の公衆送信権ないし著作隣接権者の送信可能化権を侵害する行為として違法であるが、そうした侵害コンテンツにユーザーがアクセスする経路として、リンク情報を集めたウェブサイトやスマートフォンアプリ(リーチサイト・リーチアプリ)が大きな役割を果たしているということで、音楽業界でも長年問題視してきた。他方、リンク情報の規制は社会的影響が大きく慎重を期す必要があるとの意見も存在することから、今回の法改正では、特に悪質なリーチサイト・リーチアプリに絞り込んで規制を導入することに

なった。具体的には、侵害コンテンツに殊更に誘導するリーチサイト等又は主として侵害コンテンツを利用するために用いられるリーチサイト等を運営・提供する行為と、これらのリーチサイト等に侵害コンテンツのリンク情報を掲載する行為を一定要件の下で違法とし、差止請求・損害賠償請求といった民事措置の対象とする他、刑事罰(親告罪)も手当てされることになった。なお、今回の法改正は、緊急に対応する必要がある悪質なリーチサイト等をターゲットとするものであり、改正法の対象外となる行為に関する適法・違法の評価には影響しない。

規制内容

(1) 規制対象となるリーチサイト・リーチアプリの定義(改正法113条2項1号・2号)

- ① 侵害コンテンツのリンク情報の利用を促す文言が表示されていること、侵害コンテンツのリンク情報が強調されていること、その他のリンク情報の提供の態様に照らし、侵害コンテンツに殊更に誘導するものであると認められるウェブサイト・プログラム
- ② 提供されている侵害コンテンツのリンク情報の数・割合、侵害コンテンツのリンク情報の分類・整理状況、その他のリンク情報の提供状況に照らし、主として侵害コンテンツの利用のために用いられるものであると認められるウェブサイト・プログラム

<規制対象となるリーチサイトに関するイメージ>

規制対象となるリーチサイトについて、左図が上記①、右図が②に対応する。

条文解説(リーチサイト関係)【リーチサイト・リーチアプリの定義】

<第113条第2項第1号イのイメージ>

サイト運営者が、侵害コンテンツへの誘導のために、デザインや表示内容等を作り込んでいるような場合を想定

今なら無料で読み放題!!
ここをクリック!!!

利用を促す文言の表示



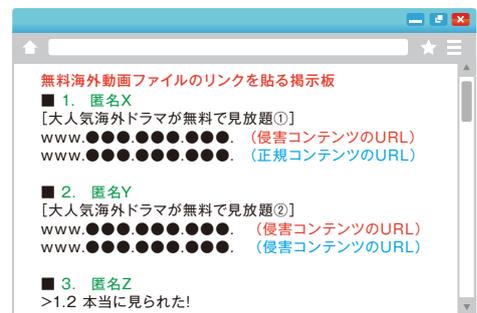
侵害コンテンツAのURL
侵害コンテンツBのURL
侵害コンテンツCのURL

(あらすじ…○○は××で△△)

URLの強調

<第113条第2項第1号ロのイメージ>

「掲示板などの投稿型サイトで、ユーザーが違法リンクを多数掲載し、結果として侵害コンテンツの利用を助長しているような場合を想定



文化庁「著作権法及びプログラムの著作物に係る登録の特例に関する法律の一部を改正する法律 御説明資料」7頁を一部加工の上作成
https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/hokaisei/r02_hokaisei/pdf/92359601_02.pdf

(2) 規制内容

	権利侵害とみなされる行為 (差止請求・損害賠償請求の対象)	刑事罰の対象行為・法定刑 (親告罪であり、権利者の告訴が必要)
リーチサイト運営・ リーチアプリ提供者 ※	規制対象となるリーチサイト・リーチアプリのリンク先が侵害コンテンツであることについて故意・過失がある場合であって、リンク削除等の措置が技術的に可能であるにもかかわらず講じない行為(改正法113条3項)	規制対象となるリーチサイト・リーチアプリの提供・運営行為について、5年以下の懲役若しくは500万円以下の罰金又はこれら両方の併科(改正法119条2項4号・5号)
リンク情報の提供者	規制対象となるリーチサイト・リーチアプリを通じて侵害コンテンツのリンク情報を故意・過失により提供する行為(改正法113条2項)	規制対象となるリーチサイト・リーチアプリを通じて侵害コンテンツのリンク情報を故意に提供する行為について、3年以下の懲役若しくは300万円以下の罰金又はこれら両方の併科(改正法120条の2 第3号)

二次創作作品やパロディが違法アップロードされている場合は上表の「侵害コンテンツ」対象外

※侵害コンテンツ以外のリンク情報も相当数取扱う汎用的なウェブサイト・アプリについては、基本的に規制対象外とされているが、そうしたサイト・アプリの運営・提供者が、侵害コンテンツのリンク情報の削除要請に正当な事由なく応じない状況が相当期間に亘り継続しているなど、権利者の利益を不当に害すると認められる特別な事情がある場合は規制が及ぶ。

2. その他の改正事項

(1) 写り込みに係る権利制限規定の整備(2020年10月1日施行)【改正法30条の2】

2012年著作権法改正で導入された「付随対象著作物の利用に係る権利制限」(いわゆる写り込みに係る権利制限)について、下表のとおり、適用場面の拡張が図られることとなった。

	改正前	改正後
適用対象	写真撮影、録音、録画	複製、複製を伴わない伝達行為全般
著作物創作要件	著作物を創作する際の利用に限定	制限なし
分離困難性	メインの被写体から分離困難な場合の付随の利用のみ対象	メインの被写体に付随する利用であれば、分離困難でなくとも正当な範囲内であれば対象
軽微性	メインの被写体において軽微な構成部分となる場合に限る	

(2) 著作物を利用する権利に関する対抗制度の導入(2020年10月1日施行)【改正法63条の2】

著作権者から著作物のライセンスを受けた後、ライセンサーである著作権者がその著作権を譲渡した場合について、既存のライセンサーが自らの利用権を著作権の譲受人に対抗できる法的制度はこれまで存在しなかったが、改正法により、ライセンサーが利用権の登録等を要することなく譲受人などに対抗できる制度(当然対抗制度)が採用されることになった。なお、独占性を対抗できるか、また、独占的ライセンサーに固有の差止請求権を制度的に付与するかといった事項については、現在も文化審議会著作権分科会で検討が行われている。

(3) アクセスコントロールに関する保護の強化(2021年1月1日施行)【改正法2条1項20号・21号、113条7項、120条の2第4号】

改正前の著作権法は、アクセスコントロールやコピーコントロールに関する保護について、不正利用の防止信号がコンテンツデータと共に記録されている場合を想定した規定となっているが、コンピュータソフトウェアのライセンス認証など、コン

テンツデータから切り離された形で信号が送信・記録されるケースについても規制が及ぶ旨を明確化し、不正なシリアルコードの提供等も違法とされることとなった。

(4) 行政手続に係る権利制限規定の整備(2020年10月1日施行)【改正法42条2項】

特許審査手続・業事行政手続のために必要と認められる場合の文献複製に関する権利制限を、地理的表示法に基づく地理的表示の登録や種苗法に基づく植物の品種登録の場面にも拡張するほか、今後、同様の対応が必要となる場合は政令で対象となる行政手続を追加できるように改正される。

(5) 著作権侵害訴訟における証拠収集手続の強化(2021年1月1日施行)【改正法114条の3】

裁判所は侵害立証又は損害額計算に必要な書類の提出を当事者に命じることができるが、改正法では、書類提出命令の必要性を判断するために裁判所が命令に先立ち当該書類の提示を受けられるようにするなどの手続が整備される。

無許諾音楽アプリに関する実態調査結果報告

今回改正著作権法により規制される無許諾音楽アプリの利用の実態を明らかにする目的で、2020年1月に青山学院大学内山隆教授を座長とする「無許諾音楽アプリ実態調査委員会」が発足された。同委員会では、無許諾音楽アプリの中でも特に利用が多い「MusicFM」「MusicBox」の利用者が当該アプリで音楽を聴取している時間や、利用者の音楽に対する意識・行動についての調査と分析を行い、報告書として公表を行った。ここでは、調査報告書から一部抜粋して紹介する。より詳細なPDF版は、当協会ホームページにも掲載している。

▶無許諾音楽アプリに関する実態調査結果報告書(プレスリリース) <https://www.riaj.or.jp/news/id=275>

無許諾音楽アプリ実態調査委員会

【委員】※敬称略

内山 隆(青山学院大学 教授) <座長>
 生貝 直人(東洋大学 准教授)
 太下 義之(文化政策研究者)
 城山 康文(アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士)
 山口 真一(国際大学グローバルコミュニケーションセンター 准教授)
 吉田 奨(一般社団法人セーフアーインターネット協会 専務理事)

【オブザーバー】

内閣府知的財産戦略推進事務局、総務省、文化庁、経済産業省

【アンケート調査委託会社】

株式会社三菱総合研究所

【事務局】

一般社団法人日本音楽事業者協会、一般社団法人日本音楽出版協会、
 一般社団法人日本音楽制作者連盟、一般社団法人日本音楽著作権協会、
 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会、一般社団法人日本レコード協会

調査概要

調査の種類：スクリーニング調査(以下、SC調査)、本調査

調査手法：インターネットWEBアンケート調査

調査時期：SC調査(2020年3月16日~20日)、本調査(2020年3月23日~30日)

調査対象：全国12~69歳の男女

有効回答数：<SC調査>10,000サンプル*国勢調査に基づき性・年代の人口構成比に従って割付・回収。

<本調査>1,034サンプル*SC調査においてMusicFM / MusicBoxを過去1年以内に利用していると回答した層を、性・年代別当該アプリ利用者の出現率(両アプリを合算した出現率)に従って回収。

調査結果

① 無許諾音楽アプリの利用状況

◆ 無許諾音楽アプリ利用率および利用者数

性	年齢	利用率*	平成30年度 通信利用 動向調査 (総務省)	利用者数 (人)
男性	12-19歳以上	9.4%	95.7%	436,904
	20-29歳以上	4.1%	98.0%	253,332
	30歳以上	0.7%	97.6%	213,601
女性	12-19歳以上	11.3%	97.5%	507,158
	20-29歳以上	12.3%	99.3%	743,080
	30歳以上	1.0%	98.2%	310,595
合計				2,464,670

・無許諾音楽アプリの利用人数は、一般消費者を対象としたSC調査を基に、性年代別(男性/女性・10代/20代/30代以上)での利用率(MusicFMとMusicBoxを最も利用すると回答した割合)を導出し、各性年代別の人口(平成27年国勢調査人口を参照)と総務省公表の平成30年度通信利用動向調査のインターネット利用率を乗じることで導出した。

・各数値は小数点第一位を四捨五入しているため必ずしも合計値と一致しない。

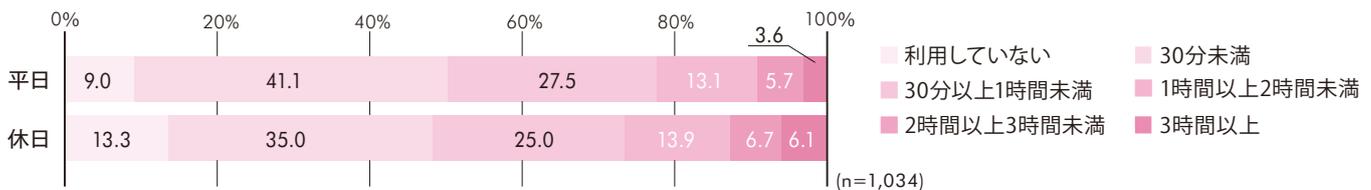
※MusicFMとMusicBoxを最も利用すると回答した割合



全国の無許諾音楽アプリの利用者は約246万人、国内人口の約2%程度と推計された。このうち、10代と20代の合計は約194万人と全体の約79%にも及ぶ。

◆ 無許諾音楽アプリの1日あたりの楽曲視聴時間及び再生回数

利用時間は、休日のほうが利用しない人の割合は大きいのが、長時間利用する人も多い傾向。平均視聴時間は平日が約49分であるのに対し、休日は約55分に増加。



1日あたりの平均楽曲視聴時間(平日で約49分、休日で約55分)から算出した1日あたりの楽曲再生回数は平日12.25回、休日13.75回。 ※1楽曲4分で換算

◆ 無許諾音楽アプリによる楽曲の再生回数



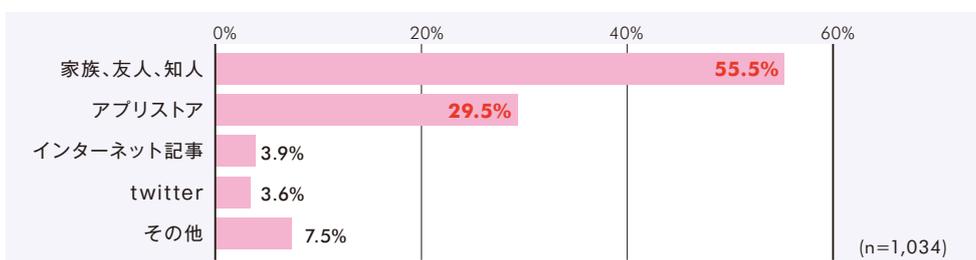
無許諾アプリ利用者による楽曲の再生回数を算出した結果、年間115億回もの再生回数におよぶと推計された。また、2013年からの利用者数推移により算出した累計の再生回数は478億回。

【無許諾音楽アプリ利用者数と楽曲再生回数の推移】

	利用者数(人)	再生回数(回)
2013年	180,924	843,496,687
2014年	326,327	1,521,387,887
2015年	599,245	2,793,773,155
2016年	962,611	4,487,840,655
2017年	1,349,772	6,292,841,873
2018年	1,960,617	9,140,691,592
2019年	2,399,109	11,185,009,105
2020年(3月時点)	2,464,670	11,490,664,771
合計		47,755,705,724

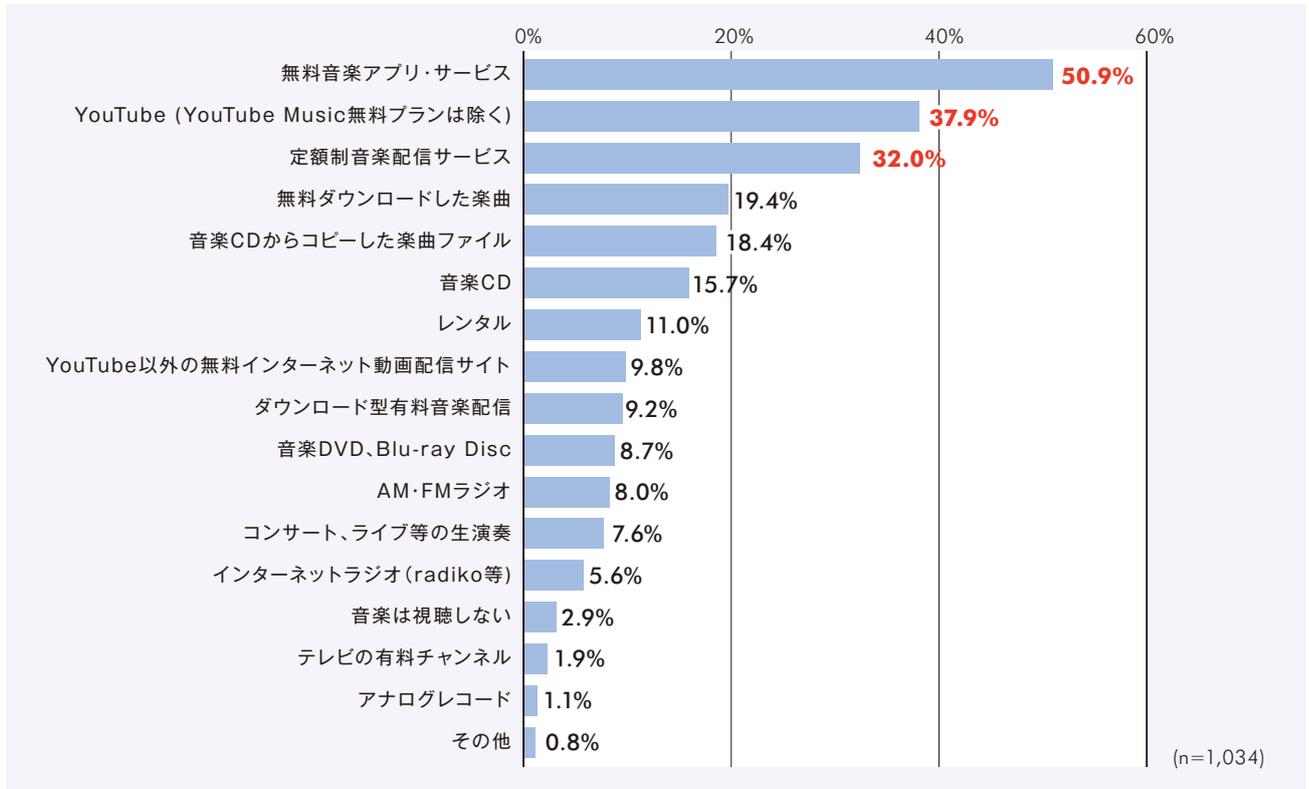
② 無許諾音楽アプリを知ったきっかけ

知ったきっかけでは、家族、友人、知人からという人が半数以上を占めて最も多く、次いでアプリストアという人が約3割となっている。



③ 無許諾音楽アプリがなくなった場合の視聴方法

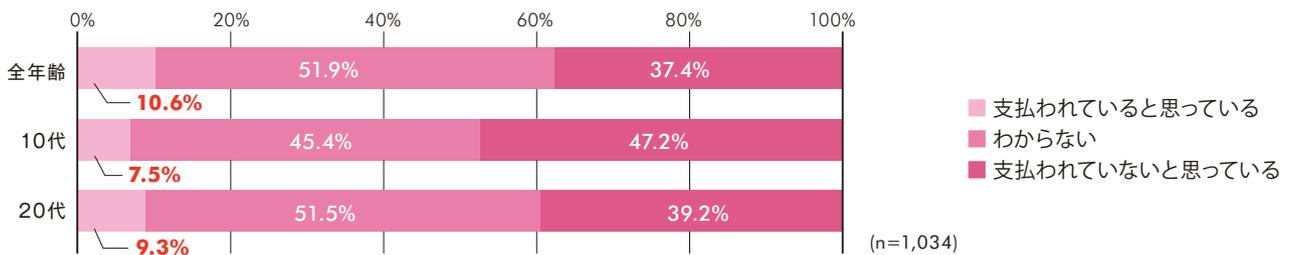
他の無料音楽アプリ・サービスへの移行が最も多く、半数を超える。次いでYouTube、定額制音楽配信サービスと続く。



④ 無許諾音楽アプリに関する意識

◆無許諾音楽アプリにおける「アーティストへの還元の有無」

無許諾音楽アプリの収益が「アーティストに還元されている」と考える人は全体の約1割。10代より20代の方がその割合が若干高い傾向。



◆「アーティストへの還元がない」場合の利用意向

還元されていないとしても「使い続ける」割合は全体の86.2%に及び、全体の6割超が「気になりながらも使い続ける」と回答。



「令和2年度 一般社団法人日本レコード協会寄附講座」 明治大学で開講

当協会は、「令和2年度 一般社団法人日本レコード協会寄附講座」を学校法人明治大学において秋学期より開講する。同講座は、次代を担う学生のクリエイティブビジネスに対する関心を高め、知的財産・著作権制度の重要性を理解してもらうことを目的として、1992年より開始した。これまでに併せて8大学で講座の寄附を実施し、明治大学は今年度が初開講となる。

本講座は全学部・全学年を対象に、音楽をはじめ、放送や出版、ゲームなどのエンターテインメント産業の具体的なビジネスの内容や、それらを支える法制度（著作権）について、毎回、各界の第一線で活躍するゲスト講師による講義形式で授業を行う。

なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、オンライン形式による授業となる。

▶令和2年度 明治大学「情報化社会におけるエンターテインメントビジネスと知的財産」講義シラバス(予定)

	テーマ	講師(敬称略)
1	イントロダクション エンターテインメントと著作権	学校法人明治大学 情報コミュニケーション学部 教授 今村 哲也
2	レコード産業の構図と現状	一般社団法人日本レコード協会 会長 重村 博文
3	レコード会社のビジネス	エイベックス・エンタテインメント株式会社 取締役 レーベル事業本部長 猪野 丈也
4	音楽著作物の集中管理	一般社団法人日本音楽著作権協会 常務理事 宮内 隆
5	音楽配信ビジネス	株式会社レコチョク 代表取締役社長 加藤 裕一
6	ライブ・コンサートビジネス	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 会長 株式会社ディスクガレージ 取締役会長 中西 健夫
7	プロダクションビジネス	一般社団法人日本音楽制作者連盟 理事長 (株式会社ヒップランドミュージックコーポレーション 代表取締役社長) 野村 達矢
8	コンテンツをめぐる紛争	染井・前田・中川法律事務所 弁護士 前田 哲男
9	アニメ業界	アーチ株式会社 代表取締役、株式会社グラフィニカ 取締役 アニメプロデューサー 平澤 直
10	ゲーム業界	セガサミーホールディングス株式会社 法務知的財産本部 知的財産部 部長 寺原 潤
11	映画ビジネス	株式会社KADOKAWA IPE×事業本部 映像事業局 映画企画部 チーフプロデューサー 椿 宜和
12	放送業界	株式会社バップ 代表取締役 社長執行役員 安岡 喜郎
13	出版業界	株式会社講談社 ライツ・メディアビジネス局 局長 角田 真敏
14	日本のコンテンツビジネス戦略 総括	経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課 課長 高木 美香 学校法人明治大学 情報コミュニケーション学部 教授 今村 哲也

▶日本レコード協会寄附講座経緯

日本レコード協会は、創立50周年事業の一環として、1992年より寄附講座を開設した。これまでの実施内容は右のとおり。

大学名	実施年	講座名
青山学院大学	1992年～2002年	レコードと法 他
早稲田大学	1992年～1994年	著作権法と技術メディアの発展 他
	2004年～2007年	コンテンツビジネスと著作権
慶應義塾大学	2007年～2009年	クリエイティブ産業研究I・II
立教大学	2008年～2010年	音楽ビジネスと法
横浜国立大学	2011年～2013年	コンテンツビジネスと法
明治学院大学	2014年～2016年	クリエイティブビジネスと著作権
電気通信大学	2017年～2019年	情報化社会におけるクリエイティブビジネスと著作権
明治大学	2020年～	情報化社会におけるエンターテインメントビジネスと知的財産

第89回RIAJセミナー「新入社員合同研修会」オンライン開催

8月5日、当協会会員社の新入社員を対象とするRIAJセミナーが開催された。本年の新入社員合同研修会は、初の試みとして、当協会会議室よりWeb会議サービスを利用して実施された。

研修会では、企画・広報部 金澤部員による「レコード業界について」、著作権・契約部 小林チーフによる「レコードに関する著作権の基礎知識」、著作権保護・促進センター（CPPC）末永センター長による「日本レコード協会の違法対策」をテーマとした講義が行われ、当協会会員の10社から83名が参加した。

ここでは、合同研修会を終えた新入社員に対して行ったアンケートから、回答の一部を紹介する。

レコード業界(会社)への志望動機

■まず、音楽が好きであることが根底にあった。今までの人生でいつも音楽に支えられ多くの場面で背中を押してもらっており、音楽の業界に携わることで多くの人が“音楽が心の拠り所である”と思えるようなコンテンツを作りたいと思い、この業界を志望した。新しいコンテンツが常に生まれ続け、ユーザーの興味が細分化している中で、音楽やライブをはじめとするエンタテインメントに対する興味の裾の尾を広げる仕事に携わろうと決心した。新型コロナウイルスによる自粛期間が続き世間に不安が広まっているが、その中でも人々をあとという間に元氣させる音楽・映像作品の持つ力を今一度強く感じている。

■今、CDが売れずサブスクリプションサービスが台頭する中で、どうしても売れるアーティストと売れないアーティストの差が大きくなってゆく時代がきている、そういった市場環境の中で、アーティストがもっと稼げるようなビジネスモデルを創りたいと思いつこの業界を志望した。

研修会感想

1.レコード業界について

■マーケットの国別シェアについて、日本がパッケージ大国であるという認識はあったが、改めて数字で比較すると他国のパッケージ売上はこんなにも少ないのかと驚いた。また、昨今ダウンロードはハイレゾの市場があるものの大きくは伸びず、多くがサブスクに移行しているのだと改めて数字で認識した。

■現在、音楽の楽しみ方がストリーミングという新たな形へ移り変わる途中であることがデータでよく分かった。そんな中でもアナログ盤の需要の高騰や、ハイレゾ対応機器の生産など、より消費者に寄り添った音楽鑑賞の形が充実してきており、楽しみ方の多様化も並行して起こっていると感じた。音楽産業は衰退しているわけではないと思うし、新たなチャネルから、新たな音楽形態を生み出していきたい。

2.レコードに関する著作権の基礎知識

■自分が所属している「レコード会社」が業界全体の中でどの立ち位置にあるのかあまりイメージが持てていなかったが、話を聞いてより理解が深まった。JASRAC、レコード協会、レコード会社それぞれの役割を理解し、自分の業務に活かしたい。

■放送二次使用料が年々増加傾向にあると聞きとても興味を持った。就職前は、「レコード会社＝CDで収入を得る」と思っていたが、原盤権（著作隣接権）を所持することで得られる二次使用料の収入も大きな収入源の一つだと学んだ。入社当初と比べ音楽業界に対する考え方が深まったと感じた。

■今年の10月1日からリーチアプリ等の運営行為が違法となることを知れて良かった。これまで違法にすることが出来なかった理由等も分かり易く説明いただき、勉強になった。

3.日本レコード協会の違法対策

■違法アプリの対策など、具体的な数字は非常に参考になった。私の知り合いにもMusicFMなどを使用している人がいるが、彼らに罪の意識などはなく、フリーライドへの許容的な社会には不安がある。社会への教育と同時進行でこれらを取り締まる方向性も検討しなければならないと思った。

■音楽配信の部署に配属された私にとって、今回のお話はシビアに受け止めなければならぬと感じた。特に衝撃的だったのは、10代の音楽視聴手段において31%が無許諾アプリを使っているグラフである。違法アプリを撲滅し、ユーザーを定額制アプリに促すことで日本の音楽市場がより盛況すると思うので、他人事と思わず、違法対策を意識して仕事をしたい。

■今まで違法音楽配信アプリが削除されないことに対して疑問があったが、10月より違法対象となることを聞いて安心した。アーティストの今後の活動をサポートするためにも、この問題はしっかりと対処すべき問題である。無料で音楽を聴けてしまう現代だからこそ、レコード会社を含む音楽関連会社が向き合っていかなければいけない。

その他

■レコード業界は流行に加えてテクノロジーの進化等、常に進化し続けている業界だと思う。それだけではなく、現在のコロナのように、当たり前だと思っていたことが突然出来なくなることもあるということも、身をもって感じた。しかし、このような時だからこそ人々の心を豊かにするエンタメは必要で、提供をやめるわけにはいかない。音楽を届ける方法を模索し、環境に合わせて迅速に対応できるように、常に新しいアイデアを考えていかなければならないと改めて感じた。今日伺ったお話を活かし、視野を広く持ち、行動していきたい。

■オンラインという形にはなってしまったけれど、レコード業界の同期の顔を見ることができてよかった。

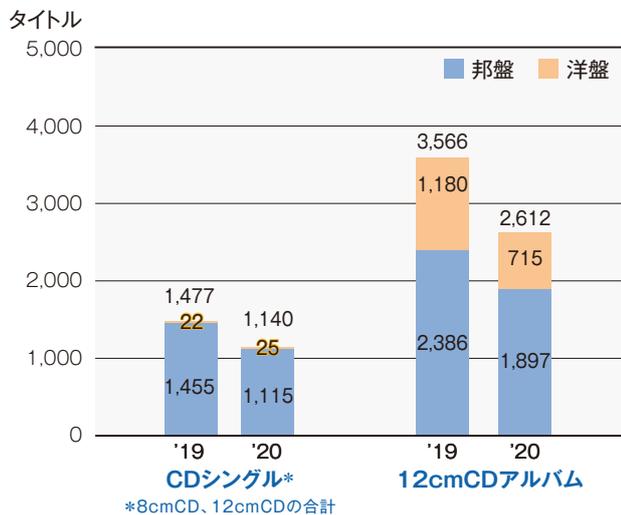
■入社して2か月の在宅勤務を経て現在出社をしているが、新しい業務を覚えることに精一杯になっていた中で、今一度音楽業界の土台となる部分の思いを再確認することができた。この講座では、中国の急成長や国内のデジタルの成長など、これから注目すべきポイントが自分の中で整理されたので良かったと思う。

Data File

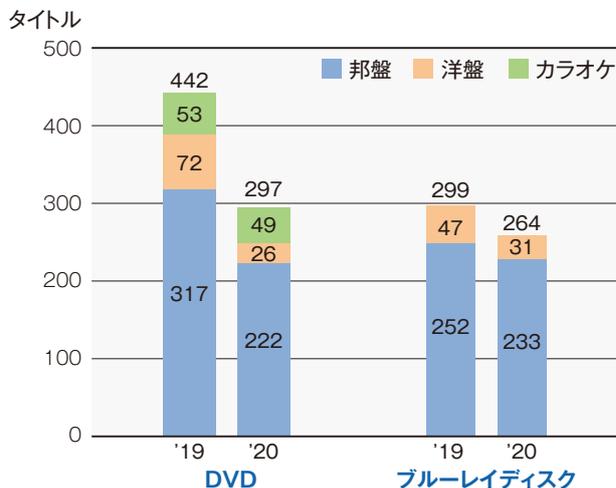
2020年上半期新譜数

2020年上半期(1~6月)販売の新譜タイトル数がまとまった。オーディオは、合計で前年同期比74%の3,915タイトルとなった。また、音楽ビデオについては、合計で前年同期比76%の561タイトルとなった。

●オーディオレコード新譜数



●音楽ビデオ新譜数



●オーディオレコードジャンル別新譜数

ジャンル		8cmCD シングル	12cmCD シングル	12cmCD アルバム	CD計	アナログ ディスク	カセット シングル	カセット アルバム	合計
邦盤	演歌	0	249	98	347	0	72	0	419
	ポップス・歌謡曲	4	674	1,311	1,989	78	1	3	2,071
	軽音楽	0	19	58	77	0	0	0	77
	サウンドトラック	0	0	95	95	2	0	0	97
	民謡・純邦楽	0	2	24	26	0	0	1	27
	教育・教材・童謡・童話	0	1	85	86	0	0	0	86
	アニメーション	0	144	107	251	1	0	0	252
	クラシック	0	0	38	38	0	0	0	38
	カラオケ	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	22	81	103	0	0	0	103
	邦盤計	4(400%)	1,111(76%)	1,897(80%)	3,012(78%)	81(74%)	73(85%)	4(67%)	3,170(78%)
洋盤	ロック・ポップス・ダンス	0	10	244	254	5	0	0	259
	ジャズ・フュージョン	0	1	103	104	0	0	0	104
	ポピュラーソング	0	14	65	79	0	0	0	79
	サウンドトラック	0	0	79	79	0	0	0	79
	クラシック	0	0	218	218	0	0	0	218
	その他	0	0	6	6	0	0	0	6
	洋盤計	0(-)	25(114%)	715(61%)	740(62%)	5(13%)	0(-)	0(0%)	745(60%)
合計	4(400%)	1,136(77%)	2,612(73%)	3,752(74%)	86(58%)	73(85%)	4(57%)	3,915(74%)	

●音楽ビデオジャンル別新譜数

ジャンル	ディスク		テープ	その他	合計
	DVD	ブルーレイディスク	VHS	HD DVD	
邦盤	222	233	0	0	455
洋盤	26	31	0	0	57
カラオケ	49	0	0	0	49
合計	297(67%)	264(88%)	0(-)	0(-)	561(76%)

備考 1. 本実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む
2. 単位:タイトル
3. ()内は対前年比

Monthly Production Report 2020年6月度レコード生産実績



6月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比36%の848万枚・巻、金額で同42%の113億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比31%の600万枚・巻、金額で同33%の66億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比57%の249万枚・巻、金額で同72%の47億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	6月実績						2020年1月~2020年6月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
8cmCD シングル	邦	1	0	23%	1	0	31%	8	0	70%	7	0	90%
	洋	0	0	700%	0	0	1227%	0	0	700%	0	0	1227%
	計	1	0	37%	1	0	55%	9	0	73%	7	0	96%
12cmCD シングル	邦	2,104	35	56%	2,191	33	63%	15,035	32	72%	13,161	25	75%
	洋	0	0	0%	0	0	0%	663	1	80%	540	1	78%
	計	2,104	35	52%	2,191	33	60%	15,699	33	73%	13,701	26	75%
シングル 計	邦	2,104	35	56%	2,192	33	63%	15,044	32	72%	13,168	25	75%
	洋	1	0	0%	1	0	0%	664	1	80%	541	1	78%
	計	2,105	35	52%	2,192	33	60%	15,708	33	73%	13,709	26	75%
12cmCD アルバム	邦	2,827	47	20%	3,541	53	23%	26,769	56	64%	34,293	64	65%
	洋	976	16	96%	768	12	71%	4,597	10	69%	4,336	8	63%
	計	3,803	63	25%	4,309	65	26%	31,366	66	65%	38,629	72	65%
CD計	邦	4,931	82	27%	5,733	86	31%	41,813	88	67%	47,461	89	67%
	洋	977	16	76%	769	12	60%	5,260	11	70%	4,877	9	65%
	計	5,908	99	31%	6,502	98	33%	47,074	99	67%	52,337	98	67%
アナログ ディスク	邦	17	0	72%	26	0	51%	160	0	57%	364	1	68%
	洋	31	1	69%	52	1	63%	149	0	57%	252	0	52%
	計	49	1	70%	78	1	58%	309	1	57%	616	1	60%
カセット テープ	邦	8	0	34%	7	0	33%	103	0	53%	94	0	56%
	洋	1	0	186%	1	0	163%	1	0	27%	2	0	19%
	計	8	0	36%	8	0	36%	104	0	52%	96	0	54%
その他	邦	6	0	148%	8	0	92%	34	0	51%	61	0	48%
	洋	27	0	67%	45	1	70%	132	0	100%	235	0	101%
	計	33	1	74%	53	1	73%	166	0	84%	296	1	82%
合計	邦	4,962	83	27%	5,773	87	31%	42,109	88	67%	47,980	90	67%
	洋	1,036	17	76%	867	13	61%	5,544	12	70%	5,366	10	65%
	計	5,998	100	31%	6,640	100	33%	47,653	100	67%	53,345	100	67%

音楽ビデオ

	6月実績						2020年1月~2020年6月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	1,936	78	57%	2,721	58	78%	11,008	65	78%	14,245	48	85%
	洋	64	3	160%	216	5	421%	227	1	54%	452	2	59%
	計	2,000	80	58%	2,937	63	83%	11,234	67	78%	14,696	49	84%
ブルーレイ ディスク	邦	442	18	49%	1,521	32	52%	5,344	32	77%	14,744	49	84%
	洋	44	2	264%	230	5	451%	263	2	182%	448	1	83%
	計	485	20	53%	1,750	37	59%	5,607	33	80%	15,191	51	84%
テープ・その他	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
合計	邦	2,378	96	55%	4,242	90	66%	16,352	97	78%	28,989	97	85%
	洋	108	4	190%	446	10	436%	489	3	87%	899	3	69%
	計	2,485	100	57%	4,687	100	72%	16,842	100	78%	29,888	100	84%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	6月実績						2020年1月~2020年6月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオレコード計	5,998	71	31%	6,640	59	33%	47,653	74	67%	53,345	64	67%	
音楽ビデオ計	2,485	29	57%	4,687	41	72%	16,842	26	78%	29,888	36	84%	
合計	邦	7,340	87	33%	10,015	88	40%	58,462	91	69%	76,968	92	73%
	洋	1,143	13	80%	1,313	12	86%	6,033	9	71%	6,265	8	65%
	計	8,483	100	36%	11,328	100	42%	64,495	100	70%	83,233	100	72%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	6月実績						2020年1月~2020年6月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	3,730	73	67%	5,104	52	93%	20,939	67	72%	28,950	47	88%
ブルーレイディスク	1,392	27	63%	4,740	48	79%	10,505	33	74%	32,216	53	86%
テープ・その他	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%
合計	5,121	100	66%	9,844	100	86%	31,444	100	73%	61,166	100	87%

オーディオ/ビデオレコード合計

	6月実績						2020年1月~2020年6月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計	5,998	54	31%	6,640	40	33%	47,653	60	67%	53,345	47	67%
ビデオレコード計	5,121	46	66%	9,844	60	86%	31,444	40	73%	61,166	53	87%
合計	11,120	100	41%	16,484	100	52%	79,097	100	69%	114,511	100	76%

備考 1. 本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
 2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
 3. オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

Monthly Production Report 2020年7月度レコード生産実績



7月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比85%の1,433万枚・巻、金額で同95%の190億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比78%の956万枚・巻、金額で同93%の125億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比106%の478万枚・巻、金額で同98%の64億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	7月実績						2020年1月~2020年7月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
8cmCD シングル	邦	25	0	2490%	3	0	389%	33	0	259%	10	0	115%
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	700%	0	0	1227%
	計	25	0	2490%	3	0	389%	34	0	261%	10	0	120%
12cmCD シングル	邦	3,548	37	70%	3,380	27	77%	18,584	32	72%	16,541	25	75%
	洋	3	0	294%	2	0	245%	666	1	80%	542	1	79%
	計	3,551	37	70%	3,382	27	77%	19,250	34	72%	17,083	26	76%
シングル 計	邦	3,573	37	70%	3,383	27	77%	18,617	33	72%	16,550	25	75%
	洋	3	0	294%	2	0	245%	667	1	80%	543	1	79%
	計	3,576	37	70%	3,385	27	77%	19,283	34	72%	17,093	26	76%
12cmCD アルバム	邦	5,051	53	81%	8,235	66	104%	31,820	56	66%	42,527	65	70%
	洋	740	8	86%	675	5	71%	5,337	9	71%	5,011	8	64%
	計	5,791	61	82%	8,909	71	100%	37,157	65	67%	47,538	72	69%
CD計	邦	8,624	90	76%	11,617	93	94%	50,437	88	68%	59,078	90	71%
	洋	743	8	86%	677	5	71%	6,004	10	72%	5,554	8	65%
	計	9,367	98	77%	12,294	98	93%	56,440	99	69%	64,631	98	71%
アナログ ディスク	邦	51	1	239%	90	1	196%	211	0	70%	455	1	78%
	洋	31	0	73%	70	1	88%	181	0	59%	322	0	57%
	計	83	1	129%	160	1	128%	392	1	65%	777	1	68%
カセット テープ	邦	80	1	376%	20	0	128%	183	0	85%	115	0	62%
	洋	0	0	800%	0	0	638%	2	0	31%	2	0	21%
	計	80	1	377%	20	0	129%	184	0	83%	117	0	60%
その他	邦	4	0	80%	9	0	86%	38	0	53%	70	0	51%
	洋	22	0	111%	33	0	90%	155	0	102%	268	0	99%
	計	27	0	104%	42	0	89%	193	0	86%	338	1	83%
合計	邦	8,760	92	77%	11,737	94	95%	50,869	89	68%	59,717	91	71%
	洋	797	8	86%	780	6	73%	6,341	11	72%	6,146	9	66%
	計	9,556	100	78%	12,517	100	93%	57,210	100	69%	65,862	100	71%

音楽ビデオ

	7月実績						2020年1月~2020年7月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	3,209	67	107%	2,732	42	82%	14,217	66	83%	16,977	47	85%
	洋	37	1	193%	95	1	267%	264	1	60%	547	2	68%
	計	3,246	68	107%	2,828	44	84%	14,481	67	83%	17,524	48	84%
ブルーレイ ディスク	邦	1,524	32	105%	3,589	56	113%	6,868	32	82%	18,333	50	88%
	洋	7	0	77%	26	0	68%	270	1	176%	473	1	82%
	計	1,531	32	105%	3,615	56	113%	7,139	33	84%	18,806	52	88%
テープ・その他	計	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
合計	邦	4,733	99	106%	6,321	98	97%	21,085	98	83%	35,310	97	87%
	洋	45	1	154%	121	2	166%	534	2	90%	1,020	3	74%
	計	4,778	100	106%	6,442	100	98%	21,619	100	83%	36,330	100	86%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	7月実績						2020年1月~2020年7月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオレコード計	9,556	67	78%	12,517	66	93%	57,210	73	69%	65,862	64	71%	
音楽ビデオ計	4,778	33	106%	6,442	34	98%	21,619	27	83%	36,330	36	86%	
合計	邦	13,492	94	85%	18,058	95	96%	71,954	91	72%	95,026	93	76%
	洋	842	6	88%	901	5	79%	6,875	9	73%	7,166	7	67%
	計	14,334	100	85%	18,959	100	95%	78,829	100	72%	102,192	100	76%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	7月実績						2020年1月~2020年7月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	4,744	69	92%	5,659	51	97%	25,683	67	75%	34,609	48	89%
ブルーレイディスク	2,108	31	71%	5,436	49	71%	12,613	33	74%	37,652	52	83%
テープ・その他	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
合計	6,852	100	84%	11,095	100	82%	38,296	100	74%	72,261	100	86%

オーディオ/ビデオレコード合計

	7月実績						2020年1月~2020年7月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計	9,556	58	78%	12,517	53	93%	57,210	60	69%	65,862	48	71%
ビデオレコード計	6,852	42	84%	11,095	47	82%	38,296	40	74%	72,261	52	86%
合計	16,409	100	80%	23,612	100	88%	95,506	100	71%	138,123	100	78%

備考 1. 本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
 2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
 3. オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

Certification

2020年6月度

ゴールドディスク認定

シングル | 邦楽

ダブル・プラチナ	君を待ってる	King & Prince	2019.04.03	ユニバーサル ミュージック
	Mazy Night	King & Prince	2020.06.10	ユニバーサル ミュージック
プラチナ	証拠	ジャニーズWEST	2020.06.24	ジェイ・ストーム (ジャニーズエンタテインメント・レコード)
ゴールド	KANZAI BOYA	KinKi Kids	2020.06.17	ジェイ・ストーム (ジャニーズエンタテインメント・レコード)

アルバム | 邦楽

ゴールド	All Time Best Album THE FIGHTING MAN	エレファントカシマシ	2017.03.21	ユニバーサル ミュージック
------	---	------------	------------	---------------

ビデオ | 邦楽

ゴールド	2017 BTS LIVE TRILOGY EPISODE III THE WINGS TOUR IN JAPAN ~SPECIAL EDITION~ at KYOCERA DOME	BTS (防弾少年団)	2018.07.11	ユニバーサル ミュージック
------	---	-------------	------------	---------------

※日付は発売日

ダウンロード認定

シングルトラック | 邦楽

ミリオン	I LOVE...	Official髭男dism	2020.01.15	ポニーキャニオン
	紅蓮華	LiSA	2019.04.22	ソニー・ミュージックレーベルズ
プラチナ	イエスタデイ	Official髭男dism	2019.09.11	ポニーキャニオン
ゴールド	Prayer X	King Gnu	2018.08.10	ソニー・ミュージックレーベルズ
	merry-go-round	CHEMISTRY	2011.03.02	ソニー・ミュージックレーベルズ
	夜に駆ける	YOASOBI	2019.12.15	ソニー・ミュージックエンタテインメント

※日付は配信開始日

ストリーミング認定

トラック | 邦楽

ゴールド	Walking with you	Novelbright	2018.10.03	Emperor Mode
	点描の唄 (feat. 井上苑子)	Mrs. GREEN APPLE	2018.07.31	ユニバーサル ミュージック
	ロマンチズム	Mrs. GREEN APPLE	2019.03.15	ユニバーサル ミュージック
	夜に駆ける	YOASOBI	2019.12.15	ソニー・ミュージックエンタテインメント
シルバー	あなたがいることで	Uru	2020.02.09	ソニー・ミュージックレーベルズ
	Slumberland	King Gnu	2018.12.14	ソニー・ミュージックレーベルズ
	Rat-tat-tat	三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE	2019.09.19	エイベックス・エンタテインメント
	みかんハート	C&K	2017.01.25	ユニバーサル ミュージック
	君の知らない物語	supercell	2013.03.04	ソニー・ミュージックレーベルズ
	さよならの前に	AAA	2014.09.17	エイベックス・エンタテインメント
	Lights	BTS	2019.07.03	ユニバーサル ミュージック
	Kill This Love	BLACKPINK	2019.04.05	ユニバーサル ミュージック

トラック | 洋楽

シルバー	The Nights	Avicii	2015.07.01	ユニバーサル ミュージック
	Problem (feat. Iggy Azalea)	Ariana Grande	2015.07.01	ユニバーサル ミュージック
	The Middle	Zedd, Maren Morris, Grey	2018.01.23	ユニバーサル ミュージック

※日付は配信開始日

認定基準

ゴールドディスク認定(音楽ソフト/カテゴリ:アルバム、シングル、音楽ビデオ)
ダウンロード認定(ダウンロード/カテゴリ:着うた®, シングルトラック、アルバム)

認定ランク	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

【基準単位】ゴールドディスク認定:枚数、ダウンロード認定:ダウンロード数

- 備考 1. 着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰
2. 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です
3. 3ミリオン以降、100万毎に認定

ストリーミング認定(ストリーミング/カテゴリ:トラック)

認定ランク	シルバー	ゴールド	プラチナ	ダイヤモンド
基準	3千万以上	5千万以上	1億以上	5億以上

【基準単位】ストリーム数

- 備考 1. 数量は、GfK Japan(ジーエフケー・インサイト・ジャパン株式会社)の提供データを元に当協会にて累計ストリーム数を算出したもの
2. 集計対象音楽ストリーミングサービス:Amazon Music Unlimited, Apple Music, AWA, dミュージック, Google Play Music, HMVmusic powered by KKBOX, KKBOX, LINE MUSIC, Rakuten Music, RecMusic, Spotify

ゴールドディスク認定

シングル 邦楽				
トリプル・プラチナ	NAVIGATOR	SixTONES	2020.07.22	ソニー・ミュージックレーベルズ
プラチナ	Fanfare	TWICE	2020.07.08	ワーナーミュージック・ジャパン
ゴールド	CAMEO	=LOVE	2020.07.08	ソニー・ミュージックレーベルズ
	シャーベットピンク	NGT48	2020.07.22	ユニバーサル ミュージック
	Nights Cold	山下 智久	2020.07.15	ソニー・ミュージックレーベルズ

アルバム | 邦楽

トリプル・プラチナ	MAP OF THE SOUL : 7 ~ THE JOURNEY ~	BTS	2020.07.15	ユニバーサル ミュージック
プラチナ	瞬間的シックスセンス	あいみょん	2019.02.13	ワーナーミュージック・ジャパン
ゴールド	MAN WITH A "BEST" MISSION	MAN WITH A MISSION	2020.07.15	ソニー・ミュージックレーベルズ

※日付は発売日

ダウンロード認定

シングルトラック 邦楽				
プラチナ	ハルノヒ	あいみょん	2019.04.03	ワーナーミュージック・ジャパン
	感電	米津玄師	2020.07.06	ソニー・ミュージックレーベルズ
ゴールド	裸の心	あいみょん	2020.05.01	ワーナーミュージック・ジャパン
	Time	宇多田 ヒカル	2020.05.08	ソニー・ミュージックレーベルズ
	sugar sweet nightmare	羽川 翼 (堀江 由衣)	2010.07.28	アニプレックス

※日付は配信開始日

ストリーミング認定

トラック 邦楽				
プラチナ	今夜このまま	あいみょん	2018.10.24	ワーナーミュージック・ジャパン
	夜に駆ける	YOASOBI	2019.12.15	ソニー・ミュージックエンタテインメント
ゴールド	Never Grow Up	ちゃんみな	2019.07.19	ワーナーミュージック・ジャパン
	恋音と雨空	AAA	2013.09.04	エイベックス・エンタテインメント
	HANABI	Mr.Children	2018.05.10	トイズファクトリー
	僕のこと	Mrs. GREEN APPLE	2018.12.26	ユニバーサル ミュージック
	別の人の彼女になったよ	wacci	2018.08.22	ソニー・ミュージックレーベルズ
シルバー	裸の心	あいみょん	2020.05.01	ワーナーミュージック・ジャパン
	パラボラ	Official髭男dism	2020.04.10	ポニーキャニオン
	友よ ~ この先もずっと...	ケツメイシ	2016.03.23	エイベックス・エンタテインメント
	花束のかわりにメロディーを	清水 翔太	2015.10.28	ソニー・ミュージックレーベルズ
	秒針を噛む	ずっと真夜中でいいのに。	2018.08.30	ユニバーサル ミュージック
	猫 ~THE FIRST TAKE ver.~	DISH//	2020.04.29	ソニー・ミュージックレーベルズ
	Make you happy	NiziU	2020.06.30	ソニー・ミュージックレーベルズ
	DDU-DU DDU-DU -KR Ver.-	BLACKPINK	2018.06.15	エイベックス・エンタテインメント
ハルジオン	YOASOBI	2020.05.11	ソニー・ミュージックエンタテインメント	

トラック | 洋楽

シルバー	One Last Time	Ariana Grande	2015.07.01	ユニバーサル ミュージック
	Havana (feat. Young Thug)	Camila Cabello	2017.08.03	ソニー・ミュージックレーベルズ
	Rise (feat. Jack & Jack)	Jonas Blue	2018.05.25	ユニバーサル ミュージック

※日付は配信開始日

編集後記

特集では、改正著作権法の全容、および10月1日施行のリーチサイト・リーチアプリ対策に関連した無許諾音楽アプリに関する実態調査結果をご紹介します。若年層を中心とした音楽聴取の実態は音楽業界にとって深刻な問題ではありますが、著作権への理解を深め、正規サービス利用へと導くべく、今後もさらなる啓発活動を続けてまいります。特報ページでは、本年度の新入社員合同研修会参加者アンケート回答の抜粋を掲載していますが、図らずも特集の関連内容も含まれることとなりましたので、そちらもぜひご覧ください。(M)

THE RECORD No.729 2020年9・10月合併号

一般社団法人日本レコード協会 機関誌

発行人 重村 博文
編集人 原 康晴
発行日 2020年9月15日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階
TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313
URL:<https://www.riaj.or.jp/>

編集協力 株式会社金羊社 / 合同会社ヤマモトカウンスル



エルマークキャラクター
エルマーくん